

議会だより

発行／北斗市議会 監修／北斗市議会運営委員会

No.70
令和4年4月



「桜の季節に今年も可愛い花が咲きました」

—大野小学校入学式にて—

第1回定例会の概要

■こんなことが決まりました	1
■一般質問（7名）	4
■委員会活動をお知らせします	11
■一部事務組合・広域連合議会の動き	12
■議会日誌・編集後記	13

こんなことが決まりました

第1回定例会

令和4年第1回定例会は、3月1日から3月16日までの16日間の会期で開催され、一般質問のほか、令和4年度各会計予算、令和3年度各会計補正予算、条例の一部改正などについて審議しました。

▼予 算

・令和4年度北斗市一般会計予算 原案可決

予算総額を222億907万2千円とし、前年度比で6億1,878万1千円、2.9%の増となっています。

(主な事業)

総務費－新型コロナウイルス緊急対策経費（8,525万5千円）、新型コロナウイルスワクチン接種対策経費（7,828万円）、ウィズコロナ対応事業経費（3,589万5千円）、DX推進事業経費（2,591万5千円）、公共交通対策事業経費（6,552万3千円）、シティプロモーション事業経費（1,341万3千円）、防犯対策事業経費（98万5千円）

民生費－高齢者見守り確認事業経費（72万円）、児童虐待防止対策経費（479万1千円）

衛生費－健康センター管理経費（762万2千円）、疾病予防等保健対策経費（1億4,216万1千円）、母子保健対策経費（5,211万1千円）

農林水産業費－新規就農促進対策経費（806万3千円）、森林整備促進対策経費（3,623万6千円）、水産業緊急支援事業経費（6,156万円）

商工費－商店街等元気づくり事業補助金（4,000万円）、着地型観光担い手づくり事業委託料（547万4千円）、桜回廊事業補助金（1,257万9千円）、新函館北斗駅前イベント事業補助金（878万7千円）

土木費－道路橋りょう新設改良費（6億1,223万8千円）、公園・緑地施設改修事業経費（7,723万1千円）

消防費－南渡島消防事務組合費（8億6,669万円）、災害対策経費（4,695万4千円）、災害対策施設整備事業経費（1億3,087万8千円）

教育費－小学校施設改修事業経費（2億4,749万8千円）、G I G Aスクール推進事業経費（499万3千円）、公民館施設改修事業経費（1,021万9千円）、文化センター施設改修事業経費（1,251万1千円）、保健体育施設改修事業経費（1億1,319万円）、学校給食共同調理場施設改修事業経費（321万2千円）

・令和4年度北斗市国民健康保険事業特別会計予算 原案可決

保険給付費や国民健康保険事業費納付金などで総額50億4,441万6千円となっています。

・令和4年度北斗市後期高齢者医療事業特別会計予算 原案可決

後期高齢者医療広域連合納付金などで総額6億5,048万9千円となっています。

・令和4年度北斗市介護保険事業特別会計予算 原案可決

保険給付費や地域支援事業費などで総額45億6,925万円となっています。

・令和4年度北斗市土地区画整理事業特別会計予算 原案可決

市債償還金などで総額4,941万9千円となっています。

・令和4年度渡島公平委員会特別会計予算 原案可決

委員報酬などで総額52万8千円となっています。

・令和4年度北斗市水道事業会計予算 原案可決

収益的収支の収入総額は8億9,964万5千円、支出総額は7億1,268万4千円、資本的収支の収入総額は1億9,194万5千円、支出総額は7億1,543万7千円となっています。

・令和4年度北斗市下水道事業会計予算 原案可決

収益的収支の収入総額は11億7,220万5千円、支出総額は11億2,326万3千円、資本的収支の収入総額は5億6,245万円、支出総額は9億3,929万1千円となっています。



▼補正予算

- ・**令和3年度北斗市一般会計補正予算（第15号）** 原案可決
新型コロナウイルス感染症の影響による減額、原油価格高騰による燃料費等の増額、保育士等処遇改善臨時特例事業補助金の追加、農業振興費で国の補正予算により内定を受けたことによる扱い手確保・経営強化支援事業補助金の追加、各種事務事業の執行見込みによる増額または減額などで2億4,132万8千円を追加し、総額を246億9,946万円としました。
- ・**令和3年度北斗市一般会計補正予算（第16号）** 原案可決
除排雪委託料2,500万円を追加し、総額を247億2,446万円としました。
- ・**令和3年度北斗市国民健康保険事業特別会計補正予算（第6号）** 原案可決
国民健康保険財政調整基金積立金の追加、事務事業の執行見込みによる保険給付費の被保険者療養給付費、国民健康保険事業費納付金の一般被保険者医療給付費分、一般被保険者後期高齢者支援金等分などの増額または減額で1億6,871万7千円を追加し、総額を50億8,941万8千円としました。
- ・**令和3年度北斗市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）** 原案可決
事務事業の執行見込みにより、後期高齢者医療広域連合納付金などで467万3千円を減額し、総額を6億1,468万円としました。
- ・**令和3年度北斗市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）** 原案可決
介護給付費準備基金積立金の増額、事務事業の執行見込みによる施設介護サービス給付費、介護予防サービス給付費などの増額、居宅介護サービス計画給付費、地域密着型介護予防サービス給付費、特定入所者介護サービス費などの減額で2,224万4千円を追加し、総額を47億1,333万6千円としました。
- ・**令和3年度北斗市水道事業会計補正予算（第1号）** 原案可決
収益的支出の営業費用で1,218万9千円を減額、営業外費用で消費税及び地方消費税など1,025万6千円を増額し、総額を7億1,866万7千円としました。
資本的支出で事務事業の執行見込みにより、建設改良費3,382万8千円を減額し、総額を7億5,886万6千円としました。
- ・**令和3年度北斗市下水道事業会計補正予算（第2号）** 原案可決
収益的支出の営業費用で流域下水道管理費など、事務事業の執行見込みにより、868万9千円を減額、営業外費用で消費税及び地方消費税242万2千円を増額し、総額を11億1,272万円としました。
資本的支出で公共下水道事業費など、事務事業の執行見込みにより、建設改良費2,846万5千円を減額し、総額を9億7,004万2千円としました。

▼条 例

- ・**北斗市一次産業振興対策事業基金条例の制定** 原案可決
- ・**北斗市農業扱い手育成奨学金貸付条例の廃止** 原案可決
- ・**北斗市個人情報保護条例の一部改正** 原案可決
- ・**北斗市職員定数条例の一部改正** 原案可決
- ・**北斗市職員の育児休業等に関する条例の一部改正** 原案可決
- ・**北斗市手数料徴収条例の一部改正** 原案可決
- ・**北斗市社会教育委員設置条例の一部改正** 原案可決
- ・**北斗市福祉事業条例の一部改正** 原案可決
- ・**北斗市老人医療費の助成に関する条例の一部改正** 原案可決
- ・**北斗市特別工業地区内の建築制限に関する条例の一部改正** 原案可決
- ・**北斗市新幹線新駅周辺地区企業立地助成条例の一部改正** 原案可決



▼その他の議題

- ・市道路線の認定（市道第31号線ほか2路線）……………原案可決
- ・市道路線の廃止（本郷第4号線ほか2路線）……………原案可決
- ・北斗市保健センターにおける指定管理者の指定……………原案可決
(指定管理者：社会福祉法人北斗市社会福祉協議会)
- ・北斗市観光交流センターにおける指定管理者の指定……………原案可決
(指定管理者：一般社団法人北斗市観光協会)

▼同意議題

- ・教育委員会委員の選任につき同意を求める件（伊藤 恵子氏）……………原案同意
 - ・監査委員の選任につき同意を求める件（野口 秀一氏）……………原案同意
 - ・渡島公平委員会委員の選任につき同意を求める件（小池 孝司氏）……………原案同意
 - ・農業委員会委員の選任につき同意を求める件【14件】……………原案同意
- 落合 修氏、佐々木 勝利氏、時田 孝喜氏、山本 正人氏、吉田 勝幸氏、
佐々木 秀樹氏、笠原 勝幸氏、和田 勝雄氏、加藤 隆氏、岡村 栄士氏、
澤田 亨氏、中川 哲氏、齊藤 介男氏、佐々木 敬子氏

▼選挙議題

- ・選挙管理委員及び同補充員の選挙……………当選
(選挙管理委員) …… 種田 信二氏、大折 伸明氏、白尾 陽子氏、柴田 吉章氏
(同 補 充 員) …… 澤田 曜氏、畠山 恵子氏、日計 邦義氏、西 美佐氏

▼質問議題

- ・人権擁護委員の推せんにつき意見を求める件【2件】……………異議なく答申
(柳谷 友明氏、伊藤 恵子氏)

第1回臨時会

令和4年第1回臨時会は、1月12日に開催され、令和3年度一般会計及び特別会計補正予算について審議しました。

▼補正予算議題

- ・令和3年度北斗市一般会計補正予算（第13号）……………原案可決
新型コロナウイルス緊急対策経費として住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の追加などで8億2,562万7千円を追加し、総額を243億3,762万5千円としました。
- ・令和3年度北斗市一般会計補正予算（第14号）……………原案可決
新型コロナウイルス緊急対策経費として大学生等扶養世帯に対する臨時特別給付金の追加などで1億2,050万7千円を追加し、総額を244億5,813万2千円としました。
- ・令和3年度北斗市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）……………原案可決
国民健康保険税還付金などについて執行不足が見込まれることから、市税等過誤納還付金で102万1千円を追加し、総額を49億2,070万1千円としました。



工藤 秀子 議員



録画映像

般質問

質問1	総合分庁舎前にある公衆トイレの便座を改修できないか
市民窓口課長	今後、利用状況、改修方法及び費用を調査してまいりたい

問 (1) 市内の公共施設におけるトイレについては、地域住民や施設利用者のニーズに対応した設備を設置していることと

思いますが、先日、市民より総合分庁舎の前にあるトイレが洋式ではあるものの便座が冷たくて大変なので何とかならないかとの話がありました。

ア 総合分庁舎前のトイレの状況

イ 現在、北斗市で管理している公園・緑地施設のトイレの状況

ウ 北斗市内の小学校・中学校のトイレの状況

答 (市長) ア 総合分庁舎前のトイレの状況については、平成12年に建築され、

男子トイレは洋式便器1基と人感センサー付き小便器が2基、女子トイレは洋式便器2基と和式便器が1基、多目的トイレは洋式便器が1基設置されています。

便座については、いずれもヒーター機能はなく、暖房用として各箇所に電気パネルヒーターを1台ずつ設置しています。

答 (教育長) ウ 小学校全体で小便器が209基、大便器は温水洗浄暖房便座付きが11基、暖房便座付きが16基、何も付かない洋式便器が197基、和式便器が162基、小便器は人感センサー付き及び時間式が90基、プッシュ式が119基となっています。

中学校全体で小便器が127基、大便器は温水洗浄暖房便座付きが14基、暖房便座付きが2基、何も付かない洋式便器が132基、和式便器が68基、小便器は人感センサー付き及び時間式が118基、プッシュ式が9基となっています。

問 総合分庁舎前にある公衆トイレを暖房便座付きに改修できないか。

答 (市民窓口課長) 今後、利用状況、改修方法及び費用を調査してまいりたい。

問 市役所本庁舎内のトイレにまだ和式便器がありますが、どう思われるか。

答 (総務課長) 本庁舎については、令和3年度の本庁舎大規模改修に併せて、洋

イ 市内の公園・緑地施設については、大便器は温水洗浄便座付き洋式便器が34基、暖房便座付き洋式便器が9基、何も付かない洋式便器が53基、和式便器が82基となっています。

なお、集客性が高く、利用頻度の多い公園施設のトイレの新設または改修工事の際は、暖房機能を兼ね備えた温水洗浄便座付き洋式便器の設置を基本としています。

式便器を13基から20基に、和式便器を17基から10基に改修しています。

和式便器については、いろいろご意見もいただいていますので、今後さらに必要があれば検討してまいりたい。

問 小・中学校にまだ和式便器があることですが、改修の計画はあるのか。

答 (学校教育課長) 段階的に洋式化を進めています。

問 小・中学校にまだ和式便器があることですが、改修の計画はあるのか。

答 (学校教育課長) 段階的に洋式化を進めています。



総合分庁舎前に設置されている公衆トイレ

問 (2) 第2次北斗市総合計画、令和3年度実施計画の不法投棄対策事業で、不法投棄パトロールの強化、監視カメラの活用などにより不法投棄抑制を図るとあります。令和4年度の不法投棄対策事業の方向性をお知らせください。

答 (市長) 令和3年度は、ポイ捨て等が多い箇所を重点箇所に設定してパトロールするなどの対策を強化したほか、北海



不法投棄抑止のため設置されている看板

答 (環境課長) 令和3年度について、不法投棄が多かった16箇所を重点箇所に設定し、重点的に巡回していましたが、令和4年度についても回数を増やすなど、パトロールを強化してまいりたい。

問 パトロールの強化ということで重点箇所を週1回行っているとのことでしたが、令和4年度についても変わらず行うのか。

答 (環境課長) パトロールの強化ということで重点箇所を週1回行っているとのことでした。令和4年度についても回数を増やすなど、パトロールを強化してまいりたい。





伊藤 洋平 議員



録画映像

質問1	既存の施設を生かしたアウトドア活動振興について 滞在型の観光地づくりを推進してまいりたい
-----	---

します。
(1) 北斗市にある既存のキャンプ場やアウトドア施設などを生かした取り組みについて、現在行われている施策及び令和4年度以降に実施する計画などがあります。お伺いします。

問 アウトドア活動は、自然との触れ合いを通じて北海道らしいライフスタイルを提供するとともに、心に豊かさや潤いを与えるとともに、個性豊かな人材を育み、魅力あふれる地域づくりに貢献し、将来の北海道の自律的な発展を牽引する大きな可能性を有しています。

最近では、新型コロナウイルスの発生により、おうち時間が増える中、3密を回避できる広い大自然の中で楽しめるアウトドアが再びブームとなっています。

北斗市においても、きじひき高原キャンプ場、上磯ダム公園キャンプ場、湯の沢水辺公園キャンプ場など素晴らしいキャンプ場があり、これらのキャンプ場及びアウトドア施設のさらなる利活用を促し、地元の方たちや観光客の方たちに利活用していただくことは、年々増加傾向にあるアウトドア需要を後押しし、持続的な観光振興として発展していくものと考えます。

そのようなことから次のことをお伺い



きじひき高原からの眺望

答（市長）

(1) 市や北斗市観光協会では、平成22年度から本格的に体験観光事業の取り組みを始めしており、アウトドアに関連した事業としては、これまでに地引網体验やトマト収穫体验のほか、きじひき高原での星空、朝日・雲海ツアーナどを超える事業を実施しています。

令和4年度以降は、民間事業者が主体制的に体験観光商品を販売する予定であり、市としても引き続きアウトドア活動を通じて滞在型の観光地づくりを推進してまいりたい。

答（教育長）

(2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学校教育における様々な行事が制限されるなど、子どもたちにとつても、ストレスのたまる学校生活を強いられています。

現在、アウトドアを活用した学校教育の取り組みについては、学校の立地条件や規模によって内容は異なりますが、「学校行事」としては、修学旅行や宿泊研修での野外体験の実施、また「授業の一環」としては、農林漁業体験学習やスクール学習、自然観察学習など、そして「地域の特性を生かした特色ある学校づくりの取り組み」では、木育活動、英語による地域紹介の活動、いかだ下り体験、そばの種まきから収穫、そして、そば打ち体験、サケのふ化から放流体験活動などが行われています。

答（市長）

学校教育としては、これまで各学校で

行われている取り組みの継続とコミュニティ・スクールや土曜授業において、子どもたちが新しい発見や記憶に残るようなアウトドアでの体験活動を進めてまいりたい。

また、タブレットを活用したアウトド

過去5年間の各キャンプ場の利用状況

キャンプ場名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
きじひき高原	5,182人	5,409人	6,535人	6,850人	8,559人
上磯ダム公園	11,505人	7,613人	11,337人	10,908人	12,569人
湯の沢水辺公園	4,002人	4,116人	4,284人	5,878人	10,015人

(出典：北斗市統計資料等より)

ア活動に対する知識の習得や楽しみをえることも大切なことであるとともに、社会教育事業と連携したキャンプやものづくり体験、スポーツ大会など、アウトドア事業への参加を積極的に呼び掛けてまいりたい。

問 コロナ禍をきっかけにアウトドアを始めた人も多いと思いますが、問題になつてくるのが、キャンプ場でのマナーの問題だと思います。マナーを守らない方に対する対策はどういうにお考えか

答（都市住宅課長）受け付けの際に、注意事項を記載したビラを配っていますが、令和4年度以降については、厳しめの注意事項にして、もし守らなければ、次からの利用はご遠慮していただくようになります。





仲村千鶴子 議員



録画映像

これを踏まえ、令和3年11月26日、積極的勧奨を再開することが決定しました。

そこでお伺いします。

(1) 当市における令和2年度と令和3年度の対象者数、接種者数をお伺いします。

(2) 積極的勧奨に対する当市の今後の対応をお伺いします。

質問1	子宮頸がんワクチンの積極的勧奨に対する当市の対応は未接種の方へ個別通知を行い広報等で周知してまいりたい
-----	---

問 子宮頸がんは子宮の入り口部分である子宮頸部にできる「がん」で、今も年間約1万人近くの女性が子宮頸がんにかかり、約2千800人の女性が亡くなっています。

子宮頸がんの原因であるHPVの感染を防ぐHPVワクチンは平成25年に定期接種となり、小学校6年生～高校1年生相当の女子は接種を希望すれば無料で接種が可能となっている一方で、平成25年6月より国は積極的勧奨を差し控えるとしたため、多くの自治体が対象者への通知をやめ、7割近くあつた接種率が1%未満にまで激減しました。

令和3年11月、厚生労働省が開催した専門家会議で、最新の知見を踏まえて、改めてHPVワクチンの安全性が他の定期接種のワクチンと比べて特に低いわけではないことが確認され、接種によって子宮頸がんを予防できるという有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められました。

象者数が1千101人、1月末現在で接種者数は65人111回となっています。

(2) 市としても国の方針を踏まえ、積極的勧奨を再開することとしており、公平な接種機会を確保する観点から、積極的勧奨を控えてきた平成25年度～令和3年度に対象年齢となった方で未接種の方へは個別通知を行うとともに、ホームページや広報、アプリ等で広く周知してまいります。

答 (市長) 子宮頸がんは年間約1万1千人の方が罹患し、40歳までの女性におけるがん死亡要因の第2位となっています。

子宮頸がんのワクチン接種については、対象者は小学校6年生～高校1年生相当の女子で、接種回数は3回となっています。

HPIVワクチンが平成25年4月に予防接種法に基づき定期接種化されており、対象者は小学校6年生～高校1年生相当の女子で、接種回数は3回となっています。

市では、定期接種化に先立ち、平成23年2月から、子宮頸がんワクチン接種緊急促進事業として、中学校1年生～高校1年生までを対象に接種を実施してきましたが、平成25年6月に、国から積極的勧奨を差し控えるよう通知があつたことから、保護者に対しては「定期接種を中止するものではありませんので、対象者のうち、希望者は接種を受けることができます。有効性とリスクを十分理解した上で接種されますようお願いします」という表現で個別通知を行い、ワクチン接種を継続してきたところです。

(1) 令和2年度は、対象者数が1千125人、接種者数は61人106回、令和3年度は、対

質問2	男性育休が段階的に施行されるが当市としての見解は
-----	--------------------------



HPVワクチンに関するリーフレット

出典：厚生労働省資料

行されます。

当市としての見解をお伺いします。

答 (市長) 育児・介護休業法は、子育てや介護など、時間的制約を抱えている時期の労働者の「仕事と家庭の両立支援」を行い、仕事と家庭の二者択一構造を解消することで、育児・介護離職の防止、ワークライフバランスの実現などを目指したもので、昨年6月の法改正では、本年4月1日から実施される有期雇用労働者に対する育児・介護休業の取得要件緩和を皮切りに、男性の育児参加促進のため、子の出生後8週間以内に4週間まで育児休業を取得可能とする、いわゆる「産後パパ育休制度」の創設などが段階的に行われるこことなっており、厚生労働省では制度の周知を図るため、全国の都道府県労働局で、相談窓口の設置や事業者向けの説明会などを既に実施しているところです。

少子高齢化が進行し、人口減少時代を迎える中、少子化の急速な進行は、労働力人口の減少、経済活動の停滞など社会生活に大きな影響を与えるものであることから、市としても、育児休業を取得しやすいう雇用環境の整備などを通じた「子どもを産み育てたい環境づくり」は大変重要であると考えていますので、国や北海道とともに、本制度の周知等に努めてまいりたい。



白石 勝士 議員



録画映像

質問	市長
1 昨年12月に実施された北海道総合防災訓練の成果は備蓄資機材の有効活用、衛生面の充実などを再確認できた	

問 我が北斗市は比較的自然災害の少ないまちであると思いますが、昨年11月の大雨のように災害と無縁ではありません。

質 答 対応が求められる地域を抱え、地勢の一部は隣接した市町と共にしているため災害が広域化する可能性もあります。

一般 (1) 防災対策の地域特性について

地域ごと災害の可能性や避難行動が異なるため、対策の優先順位も変わってくることから、地域ごとに考えるべきと思うが、サポートが必要ではないか。

(2) 防災訓練の充実について

北斗市防災ハンドブックという素晴らしい資料が配付されているが、これを活用した防災教育などを行つてはどうか。また、昨年12月に実施された北海道総合防災訓練について、その成果はどうであつたか。

(3) 防災対策の広域連携について

市としても、町内会やブロック単位での防災活動に対しても、これまでも積極

大津波の発生時は、基本的に海岸から離れる方向に避難が求められるが、その場合、避難すべき方向には七飯町があり、一部の市民はそこへ向かうのではないか。また、駒ヶ岳が噴火した場合は南渡島

消防事務組合を構成する1市2町のうち、七飯町と鹿部町が大きな影響を受けると考えられるが、我が北斗市も無関係ではいられない。大災害は被害も広域化するため、今後ますますの広域連携が重要と考えるがいかがか。

答 (市長) 防災については、多くの議員からもご意見やご提案をいたくなど、大きな関心事であると実感しています。

また、昨年7月に北海道が最大級の津波浸水想定を公表したことや、昨年11月の豪雨で内水被害が発生したことなどもあり、市民の皆さんにおいても高い関心を持たれていると思つています。

市としても、引き続き、広報や周知に努めてまいりたい。

(1) 防災対策の地域特性について

地域によって被害の規模や避難行動が違つてくるのは当然のことであり、それぞれの状況に応じて、ハザードマップの活用や地域における防災訓練・研修などを通じ、検討していただきたいと思つています。

(2) 防災訓練の充実について

防災訓練は、厳冬期の地震に伴いブロックを活用し、授業が行われています。次に、昨年12月に行われた北海道総合

的に行なったところです。また、北斗市防災連絡会議の活動も活発となっていることから、現在では、自主防災活動に対するサポート体制も充実してきています。

今後は、より一層、地域における自主防災活動の推進に努めるとともに、地区防災計画の策定についてもフォローしていきたいと考えています。

(2) 防災訓練の充実についてですが、令和2年度に作成した防災ハンドブックは、この1冊で想定されるすべての災害を網羅しており、ブロック単位の説明会や町内会での防災研修などへの活用を想定していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況が一定程度落ち着いた局面で、地元での活用を行つてまいりたい。

なお、学校現場での防災教育は充実してきており、その際には、防災ハンドブックを活用し、授業が行われています。

市職員としては、避難所を開設し、運営していくことが主な役割ですが、今回は避難者の立場として、厳冬期における避難所の実情を体験できたということが貴重な経験となりました。

その他、テント、マット、簡易ベッドなどの備蓄資機材が有効に活用できることを検証できたこと、正しい保温対策、衛生面の充実、食事の重要性などを再認識できました。

(3) 防災対策の広域連携についてですが、七飯町の区域内に避難する市民も考えられますし、浜分地区では、函館市内に避難場所を設定しているところもあります。

本市の場合、「北海道と道内市町村相互の災害時の応援協定」が締結されており、函館市や七飯町など、近隣の市町とは、顔の見える関係を維持し、引き続き連携関係を保つてまいります。



北斗市総合体育館で行われた北海道総合防災訓練

一般質問



前田 治議員



録画映像

事業所に交付されるものです。

いずれも、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として、本年2月から9月までの賃金引き上げ分を前倒しで交付するもので、それ以降も、別途賃上げ効果が継続される取り組みを行う事業所が対象となっています。

質問1	福祉・介護職員等への賃上げ の取り組みは 特例交付金が事業所に交付さ れます
------------	---

(2) 北斗市が申請受付窓口となる業種は、保育園・認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブとなります。

(3) 道が申請受付窓口となる業種は、医療機関、障害福祉サービス事業所及び介護保険サービス事業所となっていますが、医療機関については、コロナ医療など一定の役割を担う等の条件がありますので、市内には対象がありません。

(1) 本経済対策の概要について。
(2) 北斗市が申請窓口となる業種について。
(3) 北斗市内の事業所のうち、道が申請窓口となる業種について。

答（市長）(1) 新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く方々の収入引き上げを含め、公的価格の在り方を抜本的に見直そうとするもので、地域でコロナ医療などの役割を担う医療機関に勤務する看護職員等については、収入の1%程度、福祉・介護職員等については、収入の3%程度を引き上げるための特例交付金が、

介護福祉従事者や保育士の人材不足は、本市においても大きな課題であることから、令和4年10月以降も、国がこの特例交付金を継続し、福祉・介護職員等の賃上げ効果が継続される取り組みを行なう事業所が対象となっています。

いざれも、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として、本年2月から9月までの賃金引き上げ分を前倒しで交付するもので、それ以降も、別途賃上げ効果が継続される取り組みを行なう事業所が対象となっています。

道市長会を通じ国に要望をしてまいりましたが、市として、北海道市長会を通じ国に要望をしてまいりました。

(出典：子ども・子育て支援課「所要額調べ」より)

(出典：北海道「介護給付費算定に係る体制等に関する届出書」より)

答（市長）(1) 本市では、平成20年に地方公共団体実行計画の事務事業編を策定し、電気・燃料使用量の削減、廃棄物の減量・リサイクルの推進、車両燃料使用量削減などに取り組んでいるほか、学校等への太陽光発電設備の設置、水銀灯等のLED照明への更新などで、温室効果ガス排出削減に努めています。

なお、事務事業編については、計画期間が経過していることから、令和4年度において、新たな計画の策定に着手します。

(2) 地球温暖化施策としては、一般住宅用の太陽光発電設備等設置補助金や事業者が遵守すべきガイドラインに基づいた適正な誘導による再生可能エネルギー発電設備の設置の促進、植樹や森林の適正な管理の推進による二酸化炭素吸収量を増やす取り組みを実施しているほか、家庭での二酸化炭素排出削減に当たっては、市民の意識変革や行動変容も必要なことから、家庭で一人ひとりができるることについて情報提供していくなど、各分野で連携して施策を進めて行くところであり、地方公共団体実行計画区域施策編の策定については、新たな事務事業編の策定段階で、その必要性も含めて検討してまいりたい。

(1) 策定が義務付けられている、地方公共団体実行計画（事務事業編）の策定及び実施状況。また今後の計画について。

(2) 国は、中核未満都市市町村の地方公共団体に対しても、実行計画（区域施策

1 市が申請窓口となっている業種の進捗状況

区分	園数	人数
保育園・認定こども園	8か所	234人
幼稚園	3か所	59人
放課後児童クラブ	17か所	66人
合計		359人

(出典：子ども・子育て支援課「所要額調べ」より)

2 道が申請窓口となっている業種の申請状況

区分	園数	人数
障害福祉サービス事業所	45か所	650人程度
介護保険サービス事業所	58か所	1,100人程度
合計		1,750人程度

(出典：北海道「介護給付費算定に係る体制等に関する届出書」より)

質問2	地方公共団体実行計画（事務事業編）の策定計画は 市長新たな計画の策定に着手する
------------	--

池田市長は、国連が呼び掛けたSDGs「持続可能な開発目標」の考えをまちづくりに生かす様々な取り組みを進めていますが、温暖化問題は重要な目標の一つと考えられます。

以下の方についてお伺いします。

(1) 策定が義務付けられている、地方公共団体実行計画（事務事業編）の策定及び実施状況。また今後の計画について。

(2) 国は、中核未満都市市町村の地方公共団体に対しても、実行計画（区域施策

程度を引き上げるための特例交付金が、

（1）策定が義務付けられている、地方公共団体実行計画（事務事業編）の策定及び実施状況。また今後の計画について。

（2）国は、中核未満都市市町村の地方公共団体に対しても、実行計画（区域施策

質問



高村 智議員



録画映像

市長	質問1
文月地区の周辺整備など積極的に展開してはどう思うが 関連事業者と意見交換を行いながら事業展開を図りたい	

問 平成25年に植え付けが始まったブドウ畠から、いよいよワイナリーに着手するための準備が進められています。

さらに、世界でも有名なシェフがレストラン計画に入るなど、併せて4件のプロジェクトがあると聞いています。

この規模の計画は、今まで北斗市で行つてきた地域振興策や観光客誘致、経済対策など比べても、大変魅力的な内容

がぎつしり詰まつたものと感じます。

市がこの計画をきっかけとして何をするのかが、北斗市の「未来のカタチ」につながるものと期待せざるを得ません。

そこで、市としても文月地区の周辺整備に着手し、観光プランニングや子どもたちの遊び場となるような小動物公園など、積極的に展開してはと思いますが、

市長の考え方をお聞かせください。

答（市長）現在、文月地区では、醸造用ブドウの栽培に取り組んでいる4つの農業法人が、ワイナリーや農家レストランのほか、農泊施設などの建設に向けて準

備を進めており、国の交付金を活用した建設事業費の支援を受けるため、現在、申請手続きを進めています。

このような動きを受け、ワイン産地の確立とワインを核とした地域活性化の実現に向けた課題や問題点を検証し、その取り組みを加速させるため、醸造用ブドウ生産事業者や産業団体などを構成者とした「北斗市ワインによる地域活性化検討会」を令和4年度に発足させ、本格的な活性化対策を検討することにしていましたが、まずは、基盤となる関連施設の整備をそれぞれの事業者が計画的かつ着実に行つていただることが重要となるので、市としても最大限の支援を行っていくほか、関連事業者と意見交換を行なながら事業展開を図つてまいりたい。

また、観光プランニングについては、「観光振興プランⅡ」でも、道道96号線沿いは観光エリアとして重要路線と捉えており、文月地区のワイン事業は、新たな観光振興の起爆剤として大いに期待できますので、引き続き官民一体となつた取り組みを進めてまいりたい。

質問2 北斗市運動公園野球場の整備と長寿命化計画の考えは
市長 長寿命化計画で令和12年度以降の改修計画となつていい

問 公共施設の管理や修繕に関する件。

(1) 北斗市運動公園野球場の土に関して、

大会を開催するに当たり、雨天時に水を吸い取った後、グラウンドに備えてある砂を入れますが、一時的な対応であれば除かなければ選手のけがにつながります。その場はいいのですが、後日、砂を取り戻すには時間がかかるので、砂を予防的に用意しておいて、長寿命化計画と併せて考えをお聞かせください。

答（市長）(1)利用者が砂を補充して使用しているが、使用後に補充した砂の除去までは行われていないのが現状です。補充材料については、グラウンドの土の代わりになるような黒土と火山灰砂の混合材料も用意しているので、今後も利用団体が使用前に状態を確認し、必要に応じて補修してご利用いただきたい。

また、修繕については、令和4年度から実施し、フェンス施設などは長寿命化計画の中で、令和12年度以降の改修計画となっています。

(2) 市では、公共施設等のLED化について、持続可能な財政運営を念頭に置き、初期投資費用の平準化を図るために、令和2年度から、「照明器具借上事業」により、

ご質問の電気料金の削減金額について



景観も素敵な文月地区のブドウ畠

は、令和2年度にLED化を実施したスポーツセンターの電気料金を比較すると、令和元年度の電気料金総額270万3千551円に対し、令和2年度が総額116万4千215円となり、153万9千336円、率にして56・9%の削減となっています。

今後の計画は、令和4年度に浜分・久根別・茂辺地の各体育センターにおいて

照明器具借上事業により、施設のLED化を実施することとしており、令和5年度以降については、照明器具借上事業と施設の直接施行を併用しつつ、水銀灯を使用している施設や利用頻度が高い施設を優先して実施することとしています。

社との随意契約ですが、なぜ入札やプロポーザルではないのか。

問 入札も無く、指名願いが出ている1社との随意契約ですが、なぜ入札やプロポーザルではないのか。

答（副市長）正規なプロポーザルではなかったかもしれないが、随意契約先からの提案内容など、市にとって利益になると判断したためです。





新関 一夫 議員



録画映像

複数の方が当地にてブドウ栽培を含め、ワイナリー、オーベルジユ等を開拓した旨を伝え聞いていますが、現在までの経緯、今後の見通し、考えについてお聞きします。

(3) 観光振興に関する件

観光振興を主体的に担つてもらうために一般社団法人化した観光協会は、その任を果たしているのでしょうか。

問 「雇用を創る・守る」ことが「生活を守ることにつながっていく思いから、以下何点かお聞きします。

(1) 一次産業に関する件

ア 農業について

質 国の水田支援の急激な見直しなどは、農業者にとって大きな問題となることと思いますが、市として今後どのような考

えで臨むのかをお聞きします。

イ 漁業について

私は単に補助事業のメニューを増やすのではなく、「選択と集中」を目指すべきと考えます。漁業者とよく協議しながら抜本的な事業を構築していくべきと考えます。

(2) 文月・向野地区でのワイン生産等に関する件

私は、企業誘致が厳しい現状であると

考え、当地がワイン醸造用のブドウの生産に適しているとの認識から、積極的にワイン生産活動を後押しすべきとの立場

でお聞きます。

寝ぼけたまでは、導入種苗に対する補助

率を引き上げることで利益率を向上させ、規模拡大や新規の養殖漁業者の確保を図ってまいります。

また、漁船・漁具など広い範囲に補助金を交付し設備更新を促すことで、漁への意欲向上及び漁業経営の維持・安定に寄与したいと考えています。

市としては、漁業者をはじめ、漁組・

(2) 現在、同地区で醸造用ブドウの栽培に必要な施策を講じてまいりたい。

市としては、漁業者をはじめ、漁組・

(3) 観光振興に関する件

観光振興を主体的に担つてもらうために一般社団法人化した観光協会は、その任を果たしているのでしょうか。

市として、観光協会に何を期待し、どうしていくことが望ましいと考えるのかをお聞きします。

ア (市町) (1) ア 国は、水田活用の直接支払交付金を含む米政策の見直しを行っています。

この4事業者が計画している施設の整備には、国の交付金申請を進めているところであり、市の支援策としては、ふるさと融資の活用についての検討、国の交付金の採択を受けた場合には上乗せ補助を、不採択となつた場合には効果的な支援内容を検討しているところです。

また、「北斗市ワインによる地域活性化検討会議」を令和4年度に発足させ、これからもワイン振興の本格的な活性化対策を検討していくこととしています。

(3) 観光協会の現状は各種補助事業の遂行をはじめ、観光交流センターの指定管理者としての責務を果たすことに専念しています。引き続き、観光交流センターを拠点としてイベント等の実施により体力

分に果たせるよう支援してまいりたい。

質問2 隨意契約の運用、基準についてお知らせください。

問 入札について、随意契約の運用、基準についてお知らせください。

答 (市長) 隨意契約の運用については、法令の規定に基づき、緊急の必要により競争に付することができない場合、競争に付することが不利と認められる場合などにおいて、随意契約により契約を締結しています。

また、基準については、北斗市契約事務規則の規定に基づき、予定価格が工事または製造の請負の場合は130万円を超えないものなど、それぞれの契約の種類に応じた金額の範囲内で随意契約により契約を締結しています。

問 公共施設のLED化について、どうして高額の随意契約を結んだのか。

答 (副市長) 指名願いが1社しか出でていなかつたため、随意契約を結んでいます。



LED照明の
北斗市スポーツセンター



委員会活動をお知らせします

《総務常任委員会》

- ・2月4日に委員会を開催し、『防災対策に関する調査』を行い、地域の自主防災組織との連携について、厳冬期の防災訓練で反省点はあったのか、災害時の避難指示の仕方によっては二次災害の可能性もあり得るのではないかなどの質疑応答を行いました。
- ・3月9日に第1回定例会で付託された、条例の制定（1件）、条例の一部改正（3件）の審査を行い、『北斗市一次産業振興対策事業基金条例の制定』については、一次産業すべてに活用するための基金なのか、廃止する二つの基金の残高について、制定する基金の使途についてなど、『北斗市個人情報保護条例の一部改正』については、改正により運用上の変更はあるのか、『北斗市職員定数条例の一部改正』については、本条例を制定している根拠について、本条例と職員定員管理計画との関係について、教育委員会の所管に属する学校の職員定数に係る減員の内容について、人口減少の中での職員定数の考え方についてなど、『北斗市職員の育児休業等に関する条例の一部改正』については、非常勤職員とは具体的に何を指すのか、会計年度任用職員の育児休業の取得条件についてなどの質疑応答ののち、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。



北斗市総合体育館で行われた
厳冬期の防災訓練のようす

《文教厚生常任委員会》

- ・2月7日に委員会を開催し、『学校給食に関する調査』を行い、今後の給食費の値上げについて、第2子以降の学校給食費の無償化の具体的な内容、アレルギー対応についてなどの質疑応答を行いました。
- ・3月10日に第1回定例会で付託された、条例の一部改正（3件）、指定管理者の指定（1件）の審査を行い、『北斗市社会教育委員設置条例の一部改正』については、減じた定数を10人ではなく10人以内とした理由について、減じることによる現委員への影響について、『北斗市福祉事業条例の一部改正』については、3事業の廃止により利用者が不利益を被ることはないのか、市民へ福祉事業が後退した印象を与えないような周知方法は考えているのかについて、『北斗市老人医療費の助成に関する条例の一部改正』については、生活習慣などを含む介護予防について、見直しによる財政への影響について、今の時機で見直しを行おうとした理由について、『北斗市保健センターにおける指定管理者の指定』については、社会福祉協議会の事業が増えてくる中で人員は足りているのかなどの質疑応答ののち、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。



指定管理者の指定を受けた
北斗市保健センター

《産業建設常任委員会》

- ・2月16日に委員会を開催し、『水産業の振興に関する調査』を行い、二酸化炭素を吸収させるために全国的に藻場を増やすようだが北斗市ではそのような考えはないのか、令和4年度から配置の水産指導員の採用理由・取り組み内容についてなどの質疑応答を行いました。
- ・3月11日に第1回定例会で付託された、条例の一部改正（3件）、条例の廃止（1件）、市道路線の認定（1件）、市道路線の廃止（1件）、指定管理者の指定（1件）の審査を行い、『北斗市手数料徴収条例の一部改正』については、改正による具体的な変更点について、新たに北海道から事務の権限移譲を受ける内容について、『北斗市新幹線新駅周辺地区企業立地助成条例の一部改正』については、延長の期日はいつまでなのか、『北斗市農業担い手育成奨学金貸付条例の廃止』については、新規申請者がいないとはどのような状況なのか、現在の貸し付け人数についてなど、『市道路線の認定』については、認定箇所の確認、市渡第52号線を新函館北斗駅前のロータリーに直結しなかった理由について、『北斗市観光交流センターにおける指定管理者の指定』については、本館と別館を一本化した中で指定期間を複数年ではなく1年間とした理由についての質疑応答ののち、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。



新函館北斗駅北口のロータリーと
市渡第52号線（手前右側）

《議会運営委員会》

- ・1月11日に委員会を開催し、第1回臨時会の議会運営（追加議件）に関する協議を行いました。
- ・1月14日に委員会を開催し、議会だより（No.69）の監修、「議会だよりの見直し」について協議を行いました。
- ・2月21日に委員会を開催し、第1回定例会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を3月1日から3月16日までの16日間としました。
- ・3月14日に委員会を開催し、第1回定例会の議会運営（追加議件）に関する協議を行いました。

《予算審査特別委員会》

- ・令和4年度予算審査のため、議長を除く議員21名の特別委員会を設置し、3月2日に正副委員長を互選し、3月4日、7日、8日、14日の4日間、一般会計や各特別会計・水道事業会計・下水道事業会計の新年度予算の質疑・討論を行い、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。

《北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会》

- ・3月16日に委員会を開催し、市から、新幹線トンネル掘削土の村山地区受入地において鉄道・運輸機構が実施しているモニタリングについて、前回の委員会以降の結果が報告されました。

今後に向けては、セレン濃度が基準値以下の低下傾向で推移しており、周辺の地下水や河川への影響はないことから、鉄道・運輸機構は工事再開に向けた準備行為に入りたいと考えであり、市としては、鉄道・運輸機構が実施した対策は十分機能しているものと評価しているとの説明を受けました。

モニタリング結果により得られたセレン濃度の変動理由は何か、市は現時点での工事再開を了解するのかなどの質疑応答を行いました。



北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会のようす

その他会議など（市議会）

■会派代表者会議

- ・3月1日に北斗市役所で開かれ、市長からの追加提出案件、選挙管理委員及び同補充員の選挙、予算審査特別委員会正副委員長の互選について協議しました。

■全員協議会

- ・3月2日に北斗市役所で開かれ、閉会中における正副議長の公務活動、一部事務組合・広域連合議会の概要、常任委員会の所管事務調査・特別委員会調査の概要について報告されました。
- ・3月8日に北斗市役所で開かれ、市から報告事項（1件）がありました。

一部事務組合・広域連合議会の動き

■南渡島消防事務組合議会

- ・2月28日に令和4年第1回定例会が南渡島消防事務組合消防本部で開かれ、令和4年度一般会計予算、令和3年度一般会計補正予算、条例の一部改正（2件）が審議され、可決されました。

■南渡島衛生施設組合議会

- ・2月22日に令和4年第1回定例会が七飯町役場で開かれ、副管理者の選任同意（1件）、令和4年度会計予算、令和3年度会計補正予算が審議され、可決・同意されました。

■函館湾流域下水道事務組合議会

- ・2月18日に令和4年第1回定例会が函館市役所で開かれ、議席の指定、令和4年度一般会計予算、条例の一部改正（1件）、報告（1件）が審議され、可決されました。

■函館圏公立大学広域連合議会

- ・2月18日に令和4年第1回定例会が函館市役所で開かれ、副広域連合長の選任同意（1件）、令和4年度一般会計予算、条例の一部改正（1件）、報告（2件）が審議され、可決・同意されました。

■渡島廃棄物処理広域連合議会

- ・2月10日に令和4年第1回定例会が渡島廃棄物処理広域連合で開かれ、議席の指定、令和4年度一般会計予算、令和3年度一般会計補正予算が審議され、可決されました。



議会日誌（令和4年1月1日～令和4年3月31日）

1月 5日	北斗市新年交札会（正副議長ほか議員）	3月 1日	北斗市議会第1回定例会本会議（第1日目）
8日	北斗消防出初式（議長）	2日	「会派代表者会議」
9日	北斗市成人式（議長）		定例会本会議（第2日目）
11日	「議会運営委員会」		第1回予算審査特別委員会
12日	北斗市議会第1回臨時会本会議		「全員協議会」
14日	「議会運営委員会」	4日	第2回予算審査特別委員会
20日	例月出納検査（監査委員議員）	7日	第3回予算審査特別委員会
21日	例月出納検査（監査委員議員）	8日	第4回予算審査特別委員会
2月 2日	渡島廃棄物処理広域連合議会「議会運営委員会」（議長、議会運営委員）		「全員協議会」
4日	「総務常任委員会」	9日	「総務常任委員会」
7日	「文教厚生常任委員会」	10日	「文教厚生常任委員会」
10日	渡島廃棄物処理広域連合議会「全員協議会」（議長、連合議員）	11日	「産業建設常任委員会」
	渡島廃棄物処理広域連合議会定例会（議長、連合議員）	14日	第5回予算審査特別委員会
16日	「産業建設常任委員会」	16日	「議会運営委員会」
	財政援助団体等監査（監査委員議員）		定例会本会議（第3日目）
17日	財政援助団体等監査（監査委員議員）	23日	「北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会」
18日	函館湾流域下水道事務組合議会定例会（組合議員）	24日	例月出納検査（監査委員議員）
	函館圏公立大学広域連合議会定例会（連合議員）	26日	例月出納検査（監査委員議員）
21日	「議会運営委員会」	28日	函館・江差自動車道 茂辺地木古内道路開通式「木古内町」（正副議長ほか議員）
22日	南渡島衛生施設組合議会定例会（組合議員）		功労者への表彰状伝達式（議長）
24日	例月出納検査（監査委員議員）		
25日	例月出納検査（監査委員議員）		
28日	南渡島消防事務組合議会定例会（組合議員）		

= 本会議を傍聴しませんか！ =

議会傍聴は、市民の代表である議員がどんな活動をしているか、市政がどのように運営されているのかなどを知る良い機会です。

傍聴したい方は、市役所3階の本会議場傍聴席までお越しください。



議会開催予定

第2回北斗市議会定例会は、6月の開催を予定しています。

▼ウイズコロナ時代を前提に、市民生活に寄り添う行政の役割はますます重要になり、議会としても行政施策の効果検証や市民ニーズの提案など、その役割をしつかりと果たしてまいります。議会での議論が市民の皆さんに分かりやすく届くよう、引き続き「議会だより」の丁寧な紙面作りに注力してまいります。

（編集委員 玉森 大樹）

▼ロシア政府のウクライナ侵攻でかけがえのない命と平穏な生活が無残にも一瞬にして奪われ、幼い子どもたちの命までもが奪われるその惨状を目の当たりにし、世界中が深い悲しみに包まれています。この議会だよりが皆様のお手元に届いている頃には、両国の平和的解決が行われ、平和な日常を取り戻していることを切望します。

▼さて、今定例会は、令和4年度の予算を審議する重要な議会で、特別委員会を設置し、細目にわたり審査を行い、一般会計予算を前年度比プラス約6億円の総額222億907万2千円と決定しました。

長期化する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の他、農林水産業、商業、教育、福祉、医療、環境など、様々な分野において、新たな施策も盛り込まれています。

一編集後記

☆市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。皆様のご意見ご感想をお聞かせください。

『☎ 73-3111 FAX 73-6970』『メールアドレス gikai@city.hokuto.hokkaido.jp』

印刷／有すずき印刷